

令和7年度学校評価 自己評価表

愛媛県立新居浜西高等学校
全日制 学校番号5

グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）	カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）
(1) 必要な知識・技能を把握し進んで習得する姿勢と、情報を選択し効果的に活用する力を育成します。＜学習内容の定着・情報リテラシー＞ (2) 多面的、論理的に考察して自己の考えを深め、国際的な視野を持って物事を公正に判断する力を育成します。＜思考力・判断力＞ (3) 自己の考えを他者に的確に伝え、多様な意見と照らし合わせてよりよくまとめる力を育成します。＜表現力・対話力＞ (4) 多様性を受容し、他者と支え合い協力しながら社会をよくするために活動できる力を育成します。＜協働力・社会貢献力＞ (5) 自らの果たすべき役割と探究課題を見つけ、学びの中から新しい価値を生み出す力を育成します。＜課題発見力・創造性＞	(1) ICTを活用した授業改善と学習指導の充実により、主体的・対話的で深い学びを実現するとともに、家庭学習における学びの自律と個別最適化を促進します。 (2) 2年生から「人文社会類型」「理数医療類型」の2類型に分かれ、特色ある学校設定科目や習熟度別・少人数講座を生かした教育課程を実施します。 (3) 「新居浜西高 10GOALS」に基づく自己評価・他者評価により、自己理解を深めます。 (4) 総合的な探究の時間（進路探究「仰」）において、各自の興味・関心や進路希望に基づいた課題研究を進め、成果を発表する機会を設けます。 (5) 職業理解や大学・学部・学科研究の機会の充実を図り、キャリア教育を推進します。 (6) 小論文、面接、添削等の個別指導体制により、自己実現を目指す進路指導を行います。 (7) 部活動等への積極的な参加の促進と生徒主体の学校行事の実施により、文武両道を目指して自己鍛錬できる環境を整え、個性の伸長と人間力の向上を図ります。 (8) 体験や実践を伴う人権教育、道徳教育により、自他を尊重する心と行動力を養います

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
グラデュエーション・ポリシー	グラデュエーション・ポリシーの達成	グラデュエーション・ポリシーに沿って生徒が成長していると感じる教職員の割合7割以上 [A:7割以上、 B:6割～7割、 C:5割～6割、 D:3割～5割、 E:3割未満]	A	・学校評価アンケートでは「成長している」以上が87%で、残り13%が「どちらとも言えない」であった。西高の教育活動全般において、学年が上がるごとに生徒は主体的な取組が増えていると感じる。	・来年度も、生徒の主体的な取組を促す教育活動を行っていききたい。

A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった

学力の向上	家庭学習の充実と 確かな学力の定着	家庭学習時間 1年生3時間、2年生4時間、3年生5時間以上 [A:設定時間以上、 B:設定時間－0.5時間未満、 C:設定時間－0.5時間～1時間、 D:設定時間－1時間～1.5時間、 E:設定時間－1.5時間以上]	A B A	年間家庭学習時間（1月末現在） 1年生 3.68時間 2年生 理3.52時間 文3.75時間 3年生 理5.20時間 文5.00時間	・同じ学年、同じ類型でも、一人一人に大きく差があり、取り組む姿勢の差を感じる。また、年々学習時間は減少している。
		対外模試偏差値平均 1・2年生58以上 [A:58以上、B:57以上、C:56以上、 D:55以上、E:55未満] 3年生53以上 [A:53以上、B:52以上、C:51以上、 D:50以上、E:50未満]	C	11月進研模試結果 1年生3教科総合偏差値56.0 （昨年度比+1.3）1月分2/13判明 2年生3教科総合偏差値55.2 （昨年度比+0.2）1月分2/14判明 3年生5教科総合偏差値52.0 （昨年度比+1.5）	・「進路指導基本方針」に基づき、統一した認識の下、指導を行う。また、今年度から導入したスタディサプリを活用し、学びの個別最適化を推進する。
	授業の改善や学習指導力の向上	先導的な授業実践による学力向上の支援に関する研究や評価等に関する研修会の充実 [A:5回以上、B:4回、C:3回、 D:2回、E:2回未満]	B	・進学指導研究推進プログラムに係る公開授業及び情報交換会（数学・英語）2回、教職員対象研修会2回（夏季休業中・講師招聘、11月・オンライン）を実施し、指導力向上に努めた。	・本校の現状を的確に把握した上で研修を企画し、指導力の向上を目指す。
		研究授業や相互授業参観を通じた授業改善の推進 授業参観回数 [A:6回以上、B:5回、C:4回、 D:2回、E:2回未満]	A	・研究授業（地歴公民科、保健体育科、英語科、HR活動）9回と相互授業参観2回（6月、11月）を実施し、授業改善および指導力向上に努めた。	
可能性の追求	自己実現を目指す進路指導	国公立大学合格者の割合55%以上 [A:55%以上、B:54%以上、 C:53%以上、D:52%以上、 E:52%未満]	A	国公立大学 141名現役合格、割合56.6%（卒業生245名）	・指導力の向上に努め、生徒の確かな学力を育成するとともに、特別入試の指導に関するロールモデルを確立し、校内で共有する。 ・卒業生との座談会や、大学の出張講義等を通して、難関大学及び医学部医学科を現実的な進
		難関国立大学及び医学部医学科合格者の割合5%以上 [A:5.0%以上、B:4.7%以上、 C:4.4%以上、D:4.1%以上、 E:4.1%未満]	A	〈難関大学〉 東京1、京都2、東北1、大阪5、 神戸4、九州3、合計16名合格 〈医学部医学科〉 愛媛1名合格	

A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった

				難関大学及び医学部医学科合計 17 名 割合 6.9% (卒業背 245 名)	路目標として意識づけ、 生徒が自己の可能性を 広げながら進路設計に 取り組めるように支援 する。 ・大学はもちろん、卒業 生や保護者、そして地域 の方々の協力を仰ぎな がら、生徒のニーズに即 した行事を企画・運営し ていく。 ・実施回数だけでなく、 面接の内容を充実させる ことを重視し、適切な 支援が行えるようにす る。 【進路探究「仰」の充実】 「仰」の各活動がさらに 意義あるものになるよ う、引き続き改善を図り たい。
		生徒の進路実現につながる講演、講義、 行事等の充実 生徒アンケート 5 「思う」 以上 [A:90%以上、B:80%以上、 C:70%以上、D:60%以上、 E:60%未満]	A	生徒アンケート「思う」以上 90.7% ・ 6 月下旬からの 1 か月を「進路探究 強化月間」と名付け、13 の行事を行う とともに、昨年度に続き、卒業生と連 携した行事に力を入れることで、進路 意識の高揚に努めた。	
		進路面接年間 4 回以上 [A:4 回以上、B:3 回、C:2 回、 D:1 回、E:0 回]	A	・ 3 年のホームルーム担任を中心に、 平均年間 5 回は進路面接を行うなど、 計画以上の取組が実施できている。	
	読書活動の充実	平均読書冊数 7 冊以上 [A:7 冊以上、B:5 冊以上、 C:3 冊以上、D:2 冊以上、 E:2 冊未満]	B	生徒 1 人当たりの平均読書冊数 5.8 冊 (R7.1.20 時点のアンケート集計結果 による)	
	進路探究「仰」の充実	課題研究の充実 生徒アンケート 8 「思う」 以上 [A:90%以上、B:80%以上、 C:70%以上、D:60%以上、 E:60%未満]	A	生徒アンケート「思う」 以上 の回答率 93.0%。	
		キャリアガイダンス、体験学習等によ る進路意識の高揚 生徒アンケート 9 「思う」 以上 [A:90%以上、B:80%以上、 C:70%以上、D:60%以上、 E:60%未満]	A	生徒アンケート「思う」 以上 の回答率 93.8%。	

A: 十分な成果があった B: かなりの成果があった C: 一応の成果があった D: あまり成果がなかった E: 成果がなかった

	国際理解教育の推進	国際交流や国際理解教育の推進 生徒アンケート 10「そう思う」以上 [A:90%以上、B:80%以上、 C:70%以上、D:60%以上、 E:60%未満]	E	・学校評価アンケートでは「そう思う」以上が 53.8%であった。来年度は韓国 の修学旅行もあるので、少しは改善が 期待できると思う。	・海外修学旅行の実施 や、探究学習などでの国 際理解教育の講演を更 に増やしていきたい。
豊かな人間性・たくましい心身の育成	部活動の充実と文武両道	部活動加入率 <u>90%</u> 以上 [A:90%以上、B:85%以上、 C:80%以上、D:75%以上、 E:75%未満] 県総体出場 <u>220</u> 名以上 [A:220 名以上、B:200 名以上、 C:180 名以上、D:160 名以上、 E:160 名未満] 県高文祭出場 100 名以上 [A:100 名以上、B:95 名以上、 C:90 名以上、D:85 名以上、 E:85 名未満]	B	部活動加入率 84.9% C 県総体参加 219 名 B 県高文祭参加 100 名 A ・部活動加入率が C になったことが懸 念されるところである。	・文武ともに限られた 時間を有効に使い、集中 した取り組みが大切で あることを意識させる。
		安全や健康管理に配慮した部活動の推 進 生徒アンケート 11「そう思う」以上 [A:90%以上、B:80%以上、 C:70%以上、D:60%以上、 E:60%未満]	A	「そう思う」92.1% 保護者待ち	
	学校行事・生徒会活動・HR 活動の充実	生徒主体の創意工夫のある学校行事の 実施とHR活動の充実 「生徒アンケート 12・13・14「そう思う」 以上[A:90%以上、B:80%以上、 C:70%以上、D:60%以上、 E:60%未満]	A	創意工夫のある学校行事 96.0% 生徒の意見を反映した自主的な生徒 会活動・委員会活動 88.3%	・生徒の意見を聞く機 会を工夫する。
	人権意識の高揚	人権侵害やいじめの未然防止、早期発 見、早期対応 生徒アンケート <u>15</u> 「そう思う」以上 [A:90%以上、B:80%以上、 C:70%以上、D:60%以上、 E:60%未満]	A	生徒アンケート「そう思う」以上 96.7%（昨年度 98.1%）	・（人権・同和教育）引き 続き生徒の人権意識を 高める学習を推進する とともに、学校での学び を家庭に広げるための、 保護者啓発に注力して

A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった

	教育相談の充実	相談しやすい環境作りと早期の適切な支援 生徒アンケート 16「そう思う」以上 [A:90%以上、B:80%以上、 C:70%以上、D:60%以上、 E:60%未満]	A	生徒アンケート「そう思う」以上 94.1%	いく。 ・(支援)・SCによる教育相談の一層の周知を図る。 ・クラス担任、保健室との一層の連携を図る。 ・SSWとの連携を進める。 ・(保健)感染症予防のための換気の徹底
	保健・環境衛生管理の充実	保健活動や環境衛生管理の充実 生徒アンケート 17「そう思う」以上 [A:90%以上、B:80%以上、 C:70%以上、D:60%以上、 E:60%未満]	A	生徒アンケート「そう思う」以上 95.6%	
	生徒の健全育成	適切で公平な生活指導、気持ちの良い挨拶や端正な身だしなみなど健全な生徒の育成 生徒アンケート 18「そう思う」以上 [A:90%以上、B:80%以上、 C:70%以上、D:60%以上、 E:60%未満]	A	生徒アンケート「そう思う」以上 94.6%	(生徒特活) ・以前に比べ、校内での挨拶ができるようになった。みだしなみは、検査に合格しているが、その後の状態に対しての、教職員の指導姿勢を改善する必要がある。 ・登校時の状態に対して、近隣住民からの苦情もあり、また4月からの青切符導入に向け、引き続きルール遵守・マナー向上の呼びかけを行う。 ・防災訓練について、川西分校と細かな点を詰めておく必要性はある。
	安全教育の充実	交通安全教育の充実、交通事故の防止 交通事故件数 [A:10件未満、B:15件未満、 C:20件未満、D:25件未満、 E:25件以上]	B	13件の事故報告	
		防災訓練の適切な実施と防災教育の推進 生徒アンケート 20「そう思う」以上 [A:90%以上、B:80%以上、 C:70%以上、D:60%以上、 E:60%未満]	A	「とてもそう思う」33.1%、「そう思う」59.4%、「あまりそう思わない」6.9%、「全くそう思わない」0.7%であった。	
	環境整備の推進	清掃活動の充実、管理場所の点検・整備 生徒アンケート 21「そう思う」以上 [A:90%以上、B:80%以上、 C:70%以上、D:60%以上、 E:60%未満]	A	「とてもそう思う」32.1%、「そう思う」59.1%、「あまりそう思わない」8.5%、「全くそう思わない」0.3%であった。	・清掃に関しては、生徒の自己評価が高い。もっと自発的にやらなければならないと感じる。

A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった

開 か れ た 学 校 づ く り	ニーズに応じた情報提供	ホームページの充実 掲載数/開校日数 [A:90%以上、B:80%以上、 C:70%以上、D:60%以上、 E:60%未満]	A	新居浜西高校だよりの掲載数 157 件/ 開校日数 151 日 [104.7%]	・ 社会で活躍している OB による講演会など は好評であったので、機 会があれば増やしたい。
		各種便りの定期的な発行による積極的 な情報発信 保護者アンケート 23「そう思う」以上 [A:90%以上、B:80%以上、 C:70%以上、D:60%以上、 E:60%未満]	C	・「そう思う」67.8%、「とてもそう思う」 8.9%であった。「全くそう思わない」 が、昨年度の 21.5%から今年度は 17.0% にわずかだが減ったのはよかった。し かし、発行が遅れることがあったのが 反省点だ。	
	社会総がかりで取り組む教育の推進	地域、家庭、同窓会との連携の強化 事業所、地域人材、保護者、同窓生と連 携した教育活動 [A:100 回以上、B:80 回以上、 C: 60 回以上、D:40 回以上、 E: 40 回未満]	C	・探究活動 3 年(5) 2 年(12) 1 年(15) ・キャリアガイダンス(9) ・PTA 総会、理事会(4) ・サポーターガイダンス、体験学習計(3) ・公開授業(2) ・西高祭、運動会、類型選択説明会各(1) ・大学説明会、高大連携事業(1) ・OB による講演会等(2)	
業 務 改 善 ・ 働 き 方 改 革	働き方改革の推進とやりが いのある職場づくり	超過勤務の多い教職員の減少 超過勤務時間 80 時間以上 [A:0%、B:10%未満、C:20%未満、 D:30%未満、E:30%以上]	D	・4 月～12 月の平均が 23.6%であった が、そのほとんどの教職員が部活指導 のためのものであった。しかし、夜遅 くまで勤務されている先生も数名い らっしゃる。	・自動採点システムな ど ICT の利活用、テレワ ークの積極的利用など を促したい。また、年休 が取得しやすい雰囲気 作りや、定時退庁週間 での早めの退庁などの呼 び掛けにより、ワーク・ ライフ・バランスの充実 した職場環境作りに努 めたい。
		働くことへの充実感・満足感 教職員アンケート 26「そう思う」以上 [A:90%以上、B:80%以上、 C:70%以上、D:60%以上、 E:60%未満]	A	・学校評価アンケート（教職員）では 「そう思う」以上が 100%であった。 すべての教職員が西高で働くことに 誇りを持っていることがうかがえる。	

A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった